

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0472700590		
法人名	株式会社ドリームライト		
事業所名	(株)ドリームライト グループホームひかりの里		
所在地	黒川郡富谷町成田8丁目4-10		
自己評価作成日	平成26年8月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/04/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/04/index.php</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人 介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ		
所在地	宮城県仙台市青葉区柏木一丁目2番45号 フォレスト仙台5階		
訪問調査日	平成28年3月4日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設暮らしであっても、この地域でその人らしく、これかれも生活が送れるようにその人に寄り添い、その人から人生を学び、出会った絆をこの地域で大切にされるように努めて運営しています。  
 午前中は軽体操を行っており残存機能の維持 筋力低下予防 笑いの多い時間を提供しています。  
 午後のレクでは塗り絵・習字・計算・漢字等の活動を行っています。  
 季節に応じた行事計画をしており又、外部からのボランティア等の協力もあります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

静かな住宅街にあり、同法人のデイサービスとショートステイが併設している。周囲には、パン屋・雑貨屋・スーパーがあり、職員と一緒に買い物ができる環境にある。多数の絵が飾られ、共用空間は、明るく広々としている。法人理念のもと、ありのままを受容する支援を心がけ、利用者の性格、価値観や嗜好を理解し、レクリエーションには好きな俳句やマージャンを取り入れている。また、利用者が自由に自己表現できるように音楽療法、クリニカルアートのボランティアとの交流もある。運営推進会議に、中学校PTA会長が出席しており、中学生が防災訓練への参加につながった。認知症勉強会や開設10周年音楽会を開催し、町内会主催の夏祭り、敬老会に参加するなど、地域と交流している。年1回だった家族懇談会を今年から2回に増やし、懇談会の前にアンケートを取り家族の意見を聞いている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果（事業所名 グループホーム ひかりの里）「 ユニット名 ひだまり 」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ありのままを受容し自然や地域社会との絆を大切にしている介護理念です。会議、ミーティング等で理念を確認し合い、ケアの振り返りをして理念を共有しています。	「ありのままを受容し自然や地域社会との絆を大切にしている」を毎朝唱和し、年に1回振り返る。明るい笑顔、職員同士の協力、尊敬の気持ちを忘れず、言葉遣いにも気を付けている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域で催される「夏祭り」「敬老会」等に参加 お案内をいただき、地域の一員として交流をしております。	町内会に加入し、夏祭りや敬老会に参加している。事業所開設10周年に音楽会を開催し、地域の方も参加している。麻雀、カラオケ、音楽療法、クリニカルアートのボランティアとの交流がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域発信の「音楽療法」「傾聴ボランティア」や地域ボランティア活動団体等の方々に、認知症の実態や支援方法等についてご理解をいただけるようお願いしております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	実践上での報告と要望などについてお話しさせていただき、ご家族代表、町内会会長、地域民生委員、地域包括支援センター職員等の方々にご意見や地域情報を頂戴しながらサービス提供に反映できるように工夫しております。	年6回開催し、町内会長、民生委員、地域包括職員、家族代表、町保健福祉課職員、中学校PTA会長が参加している。事業所からは報告を行ない、参加者からは認知症勉強会開催の提案や中学生の防災訓練の参加への働きかけが行なわれている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	デイサービス、ショートステイを併設運営しているため、町役場担当部署や地域包括支援センターとの連絡体制を密にしております。また、当事業所への入所希望者の情報などについても提供していただいている等の協力関係を築いております。	地域包括支援センターへは、月1回入退去情報の提供を行い、担当者とも電話などで連絡を取り合っている。町からは介護保険制度についてなどの情報提供があり、ホームは必要な報告相談をしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中の玄関施錠をしないことをはじめ、ユニットでは入口の隔離扉を撤去してオープンスペースとして活用して、開放的施設活用と密室スペースをつくらない工夫をしながら拘束・隔離的ケアを生み出さないようにケアをしております。	防犯のため玄関施錠は21:00～翌朝6:00である。ユニット間の扉をなくし、利用者の行き来も自由である。ユニット間でも職員は情報を共有し、外出傾向を把握し、職員と一緒に散歩し見守りしている。安全配慮のため、家族に同意を得て、ベッドや足元にセンサーを使用している人もいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「虐待防止研修会」に管理者や職員が参加し、報告会をおこないながら、虐待防止の啓蒙を強めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	1名の入所者が、「成年後見制度」を利用しており、後見人との面談もあり、権利擁護や活用について管理者や職員は自覚しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所申込の施設見学時も含め、契約に際しては「重要事項説明書」の説明にとどまらず、面談での不安や疑問、要望などを尋ねて、十分に理解、納得していただけるように心がけて実践しております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様来所時や電話での運営に対するご意見は管理者に上意し、日常の運営に役立てる様にユニット会議や送りにも反映しています。	家族懇談会は、今年から年2回開催し、家族アンケートも2回実施している。家族から利用料や職員の異動などについて意見、要望があり、改善策を考える機会になっている。連絡ノートを活用している。	家族の意見や要望を反映したサービスの質の確保と向上に資する取組みについて、利用者・家族に理解を得るために広報誌を作成することなどを期待する。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一度、会議を設けて、随時職員の意見・提案を反映させています。年に2回面談実施	月1回、全体会議を行ない、役割分担や協力方法などについて話合っている。定期的な職員面談の他に随時面談も行なわれている。希望者には資格取得のため、日程調整などの支援をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の人事考課測定の面談をおこない、賞与査定制度を実施しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護福祉士受験支援制度や初任者研修制度を活用しています。 随時、中堅職員から他職員への介護スキルの教育を促しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム協議会勉強会等に参加して、他施設の取り組み等の情報を提供していただきながら、同業者との交流の機会を持っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	フェイスシートや生活歴や嗜好などを記録する「人生のリュックサック」を豊かにして、さらに要望などを聞かせていただきながら早期の信頼関係が築かれるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	十分な傾聴を行うことによって、家族のニーズやよりよい関係づくりに努めております。又随時、意見を受け入れる様努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	常に本人・家族様の意見を尊重し、本人が納得した生活を送れるようサービス提供に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	会話等のふれあいを通して、生活を共にする人としての自覚を持ち、より良い生活を送っていただけるよう努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との会話を通して信頼関係を大切にし、本人と家族が、お互いにより生活ができるように努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族と墓参りに行かせて頂いたり、馴染みの関係が出来るように努めています。	馴染みの美容院に職員と一緒にいくことや、家族協力により、外食・外泊や墓参りに行くことがある。年賀状などの代筆を希望される人には支援している。昔の同僚が訪ねてくることもあった。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の個性を把握しながら、食事や活動を大切にしており、孤立しないようにスタッフ仲介にて交流の視野を広くし、利用者様同士での支え合いも見られております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	要望があった際や・必要があると判断される場合には、支援するよう努めております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	基本、本人の意向を第一として支援しております。実現困難な際でも、なるべく希望に添えるような代替えの支援を提案していけるよう努めております。夕方には晩酌をされる方もおり楽しみの時間を提供しています。	入所時に家族が記入したフェースシート(思い出のリックサック)を参考に、利用者の性格、価値観や嗜好を理解し対応している。レクリエーションに好きな俳句やマージャンを取り入れている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人様、家族や、事業所からの情報収集に努め、御本人様の背景把握を実践しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活チェック表を使用しながら1日の過ごし方、体調変化時の記載にてご本人様の現状を把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様の現在の課題をピックアップし御本人様やご家族様の要望を取り入れ、職員で話し合いながら介護計画作成にフィードバック作成しています。毎月1ヶ月の施設生活状況をご家族様にお渡ししています	情報収集シートは、担当職員が中心に記入し、介護計画策定は「課題策定用紙」を活用し、3ヶ月ごとに見直している。家族には来所時、又は電話で状態を説明し同意を得ている。家族には、個人別に1ヶ月の生活状況を書面にて報告している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録の徹底と日々の様子を連絡帳に書き込むことによって、職員だけでなく家族への情報共有も計りながら、介護計画の見直し、ケアの実践に取り組んでおります。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	デイサービス、ショートステイの併設により、行事の共有や、柔軟なサービス提供に取り組んでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源をスムーズに活用できるよう把握し、支援に努めております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族様と、本人の意見を尊重して受診先を選んでおります。受診先と、信頼関係を気づけるように努め、適切な医療が受けられる環境づくりに努めております。	かかりつけ医が24時間対応の往診クリニックと協力医の方は、週1回訪問診療を受けている。その他のかかりつけ医などの受診は、基本は職員が付き添い、受診報告書で家族へ伝えている。週1回訪問看護師による健康管理も行なっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	密接にバイタルの変化・皮膚等の日々の状態を報告するように努め、適切な受診・看護が受けられるよう徹底しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	職員が様子確認とともに、病院関係者との情報交換をしております。また、安心して退院していただけるように病院関係者、家族、職員が協働して、その時のための準備をするように関係づくりをおこなっています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医との連携を密に行い体調変化時やターミナルとして時期を迎えた際には、個別カンファレンスを開き、今後の方針を、家族・かかりつけ医の意見を取り入れながら、最終期をチームで支援に取り組んでいる	看取りに関する指針は契約時に説明し、状態変化時には、再度説明して同意を得ている。職員と家族が状態を共有するため、居室にノートを置き、職員間では朝のミーティングで申し送りしている。今年度は3人の看取り経験があり、職員の心構えもできている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	災害時のマニュアルがあり、避難訓練も年2回行っている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会主催の防災訓練に参加し、また、地域推進委員会で防災対策について情報を共有化するとともに協力を要請しています。また、夜間時の想定訓練を自主的におこない、地域協力体制に位置づけられるようにしております。	年2回夜間を想定し避難訓練をしている。民生委員に見守りの協力を得ている。町内会主催の防災イベントに参加している。消火設備の点検は年2回、備蓄品は2週間分で、備品ノートで管理している。喫煙は屋外の所定の場所を設置している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの高齢者としての人格を尊重し、一人ひとりの手順や価値観の違いを理解するとともに、トイレ誘導への声掛けやお手伝いの依頼についても意思を尊重するように心がけて対応しています。	プライバシー保護や尊厳については、入社時と必要時に「ひかりの里ミッション」を読み返し振り返りしている。排泄支援も、誇りを損ねないよう意識して取り組んでいる。名前は家族にも聞き取り理解を得て呼んでいる。状況により呼び名を変えるときもある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常日頃より、利用者様に希望がないかどうか問いかけるよう心掛け、決定の際には必ず本人の意見に耳を傾ける事として職員に周知しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々、利用者様主体で生活を送って頂ける支援のに努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	過去の情報をもとに、個性を尊重した整容や、オシャレを楽しんでいただけるように配慮しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	随時、食事に関する意見を取り入れ、よりよい食環境が整うよう配慮しております。準備、片付け等、皆さま率先して参加されることが多く、やりがいをもって行われている様子が見受けられます。	基本は宅配のお弁当を利用している。水分や体重などは、生活チェック表に記録され、職員は検食を行なっている。月に1度の行事食とおやつは、利用者も一緒に作り、外食することもある。片付けは、利用者も自主的に行なって、生き生きとしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は毎日データをとり、食環境の変化に対応できるよう努めております。摂取不良が続く時には主治医の意見を仰ぎながら、健康への配慮も徹底しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施しております。口臭や歯ぐきからの出血があった方が改善され清潔保持が出来ていると思われれます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者個別の排泄パターンを把握に努め、様子観察をしながらトイレでの排泄を支援しています。	排泄パターンを把握しトイレ誘導して、自立を目指している。夜間のみポータブルトイレを使用する方もいる。便秘予防のため、食物繊維の多い食事や乳製品を用意し、腹部マッサージするなど薬に頼らない工夫をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便周期を把握し水分摂取や腹部のマッサージ、歩行運動にて便秘の予防に努めています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	現在、皆様の希望に沿った入浴サービスを実施できております。	週に2日入浴している。お湯は都度交換している。シャンプーなどは個人で好きなものを使用している。入浴時間は午後からを基本としているが、希望があれば検討する。入浴剤を使用し、楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	現在、皆様に適切な休憩、安眠を提供できております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかりつけ医からの処方薬の指示をいただきながら、また、「お薬情報」により、はたらきと副作用等について理解し、誤服用のないように確認して支援をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	現在、ドライブ、歌唱、ゲーム、軽体操、将棋等さまざまなレクリエーション活動を用意して、個々が楽しめる活動参加や季節に沿った行事を取り組みながら提供に努めております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人より、散歩や、買い物の希望があった際には出来る限りの対応をしております。現在、家族の協力も手厚く、外出の希望は、おおむね達成できております。	隣接するデイサービスの車を利用し、花見や初詣など季節ごとの行事を楽しんでいる。また、法人の他の施設へ出向くこともある。近所のパン屋やスーパーへおやつを買いに職員と一緒に出かけている。家族と外出し、外食や外泊もしている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お財布を持ち、家族の理解のもとで、ご本人保管をされている方もいます。買い物を楽しみたい方は自力、同行の方法でおこなえるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族と電話での会話ができるように促して、実施しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには折々の季節飾りをおこない、イベントやレク等でのスナップ写真集を飾りつけて、利用者同士で会話が広がるように工夫しています	リビングは南に面し明るく開放感があり、ソファの近くには雑誌も置いてある。施設内には、多数の絵が飾られ、季節の飾りもされている。トイレや風呂の表示はわかりやすい。温・湿度管理は職員が管理し、夜間は各居室を個別に2時間おきに温度調整している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	集団と個々が、気持ちよく生活できる空間造りをしております。		
	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	住み慣れた場所と、なるべく違和感のないように努め、入所される際には使い慣れたものの持参や本人が居心地の良い場所であるよう環境作りを徹底しております。	エアコン、木製ベッド、洗面台、机、チェスト、物入れが備えられている。家族の写真、位牌などの馴染みの物を持ち込んでいる。掃除は毎日担当職員が行ない、再度、管理者がチェックしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全ての利用者のADLに対して、危険のないよう配慮に努めています。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0472700590		
法人名	株式会社ドリームライト		
事業所名	(株)ドリームライト グループホームひかりの里		
所在地	黒川郡富谷町成田8丁目4-10		
自己評価作成日	平成28年2月11日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/04/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/04/index.php</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人 介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ		
所在地	宮城県仙台市青葉区柏木一丁目2番45号 フォレスト仙台5階		
訪問調査日	平成28年3月4日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設暮らしであっても、この地域でその人らしく、これからも生活が送れるようにその人に寄り添い、その人から人生を学び、出会った絆をこの地域で大切にされるように努めて運営しています。午前中は軽体操を行っており残存機能の維持 筋力低下予防 笑いの多い時間を提供しています。午後のレクでは塗り絵・習字・計算・漢字等の活動を行っています。季節に応じた行事計画をしており又、外部からのボランティア等の協力もあります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

静かな住宅街にあり、同法人のデイサービスとショートステイが併設している。周囲には、パン屋・雑貨屋・スーパーがあり、職員と一緒に買い物ができる環境にある。多数の絵が飾られ、共用空間は、明るく広々としている。法人理念のもと、ありのままを受容する支援を心がけ、利用者の性格、価値観や嗜好を理解し、レクリエーションには好きな俳句やマージャンを取り入れている。また、利用者が自由に自己表現できるように音楽療法、クリニカルアートのボランティアとの交流もある。運営推進会議に、中学校PTA会長が出席しており、中学生が防災訓練への参加につながった。認知症勉強会や開設10周年音楽会を開催し、町内会主催の夏祭り、敬老会に参加するなど、地域と交流している。年1回だった家族懇談会を今年から2回に増やし、懇談会の前にアンケートを取り家族の意見を聞いている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果（事業所名 グループホーム ひかりの里）「 ユニット名 こもれび 」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ありのままを受容し自然や地域社会との絆を大切にしている介護理念です。会議、ミーティング等で理念を確認し合い、ケアの振り返りをして理念を共有しています。	「ありのままを受容し自然や地域社会との絆を大切に」を毎朝唱和し、年に1回振り返る。明るい笑顔、職員同士の協力、尊敬の気持ちを忘れず、言葉遣いにも気を付けている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域で催される「夏祭り」「敬老会」等に参加お案内をいただき、地域の一員として交流をしております。	町内会に加入し、夏祭りや敬老会に参加している。事業所開設10周年に音楽会を開催し、地域の方も参加している。麻雀、カラオケ、音楽療法、クリニカルアートのボランティアとの交流がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域発信の「音楽療法」「傾聴ボランティア」や地域ボランティア活動団体等の方々に、認知症の実態や支援方法等についてご理解をいただけるようしております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	実践上での報告と要望などについてお話しさせていただき、ご家族代表、町内会会長、地域民生委員、地域包括支援センター職員等の方々にご意見や地域情報を頂戴しながらサービス提供に反映できるように工夫しております。	年6回開催し、町内会長、民生委員、地域包括職員、家族代表、町保健福祉課職員、中学校PTA会長が参加している。事業所からは報告を行ない、参加者からは認知症勉強会開催の提案や中学生の防災訓練の参加への働きかけが行なわれている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	デイサービス、ショートステイを併設運営しているため、町役場担当部署や地域包括支援センターとの連絡体制を密にしております。また、当事業所への入所希望者の情報などについても提供していただいている等の協力関係を築いております。	地域包括支援センターへは、月1回入退去情報の提供を行い、担当者とも電話などで連絡を取り合っている。町からは介護保険制度についてなどの情報提供があり、ホームは必要な報告相談をしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中の玄関施錠をしないことをはじめ、ユニットでは入口の隔離扉を撤去してオープンスペースとして活用して、開放的施設活用と密室スペースをつくらない工夫をしながら拘束・隔離的ケアを生み出さないようにケアをしております。	防犯のため玄関施錠は21:00～翌朝6:00である。ユニット間の扉をなくし、利用者の行き来も自由である。ユニット間でも職員は情報を共有し、外出傾向を把握し、職員と一緒に散歩し見守りしている。安全配慮のため、家族に同意を得て、ベッドや足元にセンサーを使用している人もいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	「虐待防止研修会」に管理者や職員が参加し、報告会をおこないながら、虐待防止の啓蒙を強めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	1名の入所者が、「成年後見制度」を利用しており、後見人との面談もあり、権利擁護や活用について管理者や職員は自覚しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所申込の施設見学時も含め、契約に際しては「重要事項説明書」の説明にとどまらず、面談での不安や疑問、要望などを尋ねて、十分に理解、納得していただけるように心がけて実践しております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様来所時や電話での運営に対するご意見は管理者に上意し、日常の運営に役立てる様にユニット会議や送りにも反映しています。	家族懇談会は、今年から年2回開催し、家族アンケートも2回実施している。家族から利用料や職員の異動などについて意見、要望があり、改善策を考える機会になっている。連絡ノートを活用している。	家族の意見や要望を反映したサービスの質の確保と向上に資する取組みについて、利用者・家族に理解を得るために広報誌を作成することなどを期待する。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一度、会議を設けて、随時職員の意見・提案を反映させています。年に2回面談実施	月1回、全体会議を行ない、役割分担や協力方法などについて話合っている。定期的な職員面談の他に随時面談も行なわれている。希望者には資格取得のため、日程調整などの支援をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の人事考課測定の面談をおこない、賞与査定制度を実施しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護福祉士受験支援制度や初任者研修制度を活用しています。 随時、中堅職員から他職員への介護スキルの教育を促しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	県グループホーム協議会勉強会等に参加して、他施設の取り組み等の情報を提供していただきながら、同業者との交流の機会を持っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	フェイスシートや生活歴や嗜好などを記録する「人生のリュックサック」を豊かにして、さらに要望などを聞かせていただきながら早期の信頼関係が築かれるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	フェイスシートや生活歴や嗜好などを記録する「人生のリュックサック」などにより、さらに不安や要望などを聞かせていただきながら早期の信頼関係が築かれるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	常に本人・家族様の意見を尊重し、本人が納得した生活を送れるようサービス提供に努めております。。。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	会話等のふれあいを通して、生活を共にする人としての自覚を持ち、より良い生活を送っていただけるよう努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との会話を通して信頼関係を大切にし、本人と家族が、お互いによい生活ができるように努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族と自宅に宿泊、墓参、ゴルフ練習場、親類縁者と懇談、馴染みの店で家族と食事、馴染みの美容室でカット等に行けるように支援しています。	馴染みの美容院に職員が一緒に行くことや、家族協力により、外食・外泊や墓参りに行くことがある。年賀状などの代筆を希望される人には支援している。昔の同僚が訪ねてくることもあった。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の個性を把握しながら、食事や活動を大切にしており、孤立しないようにスタッフ仲介にて交流の視野を広くし、利用者様同士での支え合いも見られております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	要望があった際や・必要があると判断される場合には、支援するよう努めております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	コミュニケーション、生活の様子、活動参加の様子、家族からの聞き取りなどを通して本人の思いや意向を把握している。	入所時に家族が記入したフェースシート(思い出のリックサック)を参考に、利用者の性格、価値観や嗜好を理解し対応している。レクリエーションに好きな俳句やマーじゃんを取り入れている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人様、家族や、事業所からの情報収集に努め、御本人様の背景把握を実践しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活チェック表を使用しながら1日の過ごし方、体調変化時の記載にてご本人様の現状を把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様の現在の課題をピックアップし御本人様やご家族様の要望を取り入れ、職員で話し合いながら介護計画作成にフィードバック作成しています。毎月1ヶ月の施設生活状況をご家族様にお渡ししています	情報収集シートは、担当職員が中心に記入し、介護計画策定は「課題策定用紙」を活用し、3ヶ月ごとに見直している。家族には来所時、又は電話で状態を説明し同意を得ている。家族には、個人別に1ヶ月の生活状況を書面にて報告している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録の徹底と日々の様子を連絡帳に書き込むことによって、職員だけでなく家族への情報共有も計りながら、介護計画の見直し、ケアの実践に取り組んでおります。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	デイサービス、ショートステイの併設により、行事の共有や、柔軟なサービス提供に取り組んでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源をスムーズに活用できるよう把握し、支援に努めております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	密接にバイタルの変化・皮膚等の日々の状態を報告するように努め、適切な受診・看護が受けられるよう徹底しております。	かかりつけ医が24時間対応の往診クリニックと協力医の方は、週1回訪問診療を受けている。その他のかかりつけ医などの受診は、基本は職員が付き添い、受診報告書で家族へ伝えている。週1回訪問看護師による健康管理も行なっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	密接にバイタルの変化・皮膚等の日々の状態を報告するように努め、適切な受診・看護が受けられるよう徹底しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	職員が様子確認とともに、病院関係者との情報交換をしております。また、安心して退院していただけるように病院関係者、家族、職員が協働して、その時のための準備をするように関係づくりをおこなっています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医との連携を密に行い体調変化時やターミナルとして時期を迎えた際には、個別カンファレンスを開き、今後の方針を、家族・かかりつけ医の意見を取り入れながら、最終期をチームで支援に取り組んでいる	看取りに関する指針は契約時に説明し、状態変化時には、再度説明して同意を得ている。職員と家族が状態を共有するため、居室にノートを置き、職員間では朝のミーティングで申し送りしている。今年度は3人の看取り経験があり、職員の心構えもできている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	災害時のマニュアルがあり、避難訓練も年2回行っています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協働体制を築いている	町内会主催の防災訓練に参加し、また、地域推進委員会で防災対策について情報を共有化するとともに協力を要請しています。また、夜間時の想定訓練を自主的におこなひ、地域協働体制に位置づけられるようにしております。	年2回夜間を想定し避難訓練をしている。民生委員に見守りの協力を得ている。町内会主催の防災イベントに参加している。消火設備の点検は年2回、備蓄品は2週間分で、備品ノートで管理している。喫煙は屋外の所定の場所を設置している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの高齢者としての人格を尊重し、一人ひとりの手順や価値観の違いを理解するとともに、トイレ誘導への声掛けやお手伝いの依頼についても意思を尊重するように心がけて対応しています。	プライバシー保護や尊厳については、入社時と必要時に「ひかりの里ミッション」を読み返し振り返りしている。排泄支援も、誇りを損ねないよう意識して取り組んでいる。名前は家族にも聞き取り理解を得て呼んでいる。状況により呼び名を変えるときもある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常日頃より、利用者様に希望がないかどうか問いかけるよう心掛け、決定の際には必ず本人の意見に耳を傾ける事として職員に周知しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々、利用者様主体で生活を送って頂ける支援のに努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	過去の情報をもとに、個性を尊重した整容や、オシャレを楽しんでいただけるように配慮しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	随時、食事に関する意見を取り入れ、よりよい食環境が整うよう配慮しております。準備、片付け等、皆さま率先して参加されることが多く、やりがいをもってして行われている様子が見受けられます。	基本は宅配のお弁当を利用している。水分や体重などは、生活チェック表に記録され、職員は検食を行なっている。月に1度の行事食とおやつは、利用者も一緒に作り、外食することもある。片付けは、利用者も自主的に行なって、生き生きとしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は毎日データをとり、食環境の変化に対応できるよう努めております。摂取不良が続く時には主治医の意見を仰ぎながら、健康への配慮も徹底しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施しております。口臭や歯ぐきからの出血があった方が改善され清潔保持が出来ていると思われれます。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者個別の排泄パターンを把握に努め、様子観察をしながらトイレでの排泄を支援しています。	排泄パターンを把握しトイレ誘導して、自立を目指している。夜間のみポータブルトイレを使用する方もいる。便秘予防のため、食物繊維の多い食事や乳製品を用意し、腹部マッサージするなど薬に頼らない工夫をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便周期を把握し水分摂取や腹部のマッサージ、歩行運動にて便秘の予防に努めています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	現在、皆様の希望に沿った入浴サービスを実施できております。	週に2日入浴している。お湯は都度交換している。シャンプーなどは個人で好きなものを使用している。入浴時間は午後からを基本としているが、希望があれば検討する。入浴剤を使用し、楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	現在、皆様に適切な休憩、安眠を提供できております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかりつけ医からの処方薬の指示をいただきながら、また、「お薬情報」により、はたらきと副作用等について理解し、誤服用のないように確認して支援をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	現在、ドライブ、歌唱、ゲーム、軽体操、将棋等さまざまなレクリエーション活動を用意して、個々が楽しめる活動参加や季節に沿った行事を取り組みながら提供に努めております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	本人より、散歩や、買い物の希望があった際には出来る限りの対応をしております。現在、家族の協力も手厚く、外出の希望は、おむね達成できております。	隣接するデイサービスの車を利用し、花見や初詣など季節ごとの行事を楽しんでいる。また、法人の他の施設へ出向くこともある。近所のパン屋やスーパーへおやつを買いに職員と一緒に出かけている。家族と外出し、外食や外泊もしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お財布を持ち、家族の理解のもとで、ご本人保管をされている方もいます。買い物を楽しみたい方は自力、同行の方法でおこなえるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族と電話での会話ができるように促して、実施しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには折々の季節飾りをおこない、イベントやレク等でのスナップ写真集を飾りつけて、利用者同士で会話が広がるように工夫しています	リビングは南に面し明るく開放感があり、ソファの近くには雑誌も置いてある。施設内には、多数の絵が飾られ、季節の飾りもされている。トイレや風呂の表示はわかりやすい。温・湿度管理は職員が管理し、夜間は各居室を個別に2時間おきに温度調整している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	集団と個々が、気持ちよく生活できる空間造りをしております。		
	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	住み慣れた場所と、なるべく違和感のないように努め、入所される際には使い慣れたものの持参や本人が居心地の良い場所であるよう環境作りを徹底しております。	エアコン、木製ベッド、洗面台、机、チェスト、物入れが備えられている。家族の写真、位牌などの馴染みの物を持ち込んでいる。掃除は毎日担当職員が行ない、再度、管理者がチェックしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全ての利用者のADLに対して、危険のないよう配慮に努めています。。		